

宅地造成工事の許可申請の添付書類の作成要領

(正・副 2部提出のこと)

※宅地造成に関する工事の許可申請は、次の事項に注意して作成してください。

- 1 許可申請書 わかりやすく記入してください。工事施工者も必ず記入してください。
- 2 委任状 申請手続きを委任する場合に添付し、訂正用の印鑑も捺印のこと。
また、申請者が法人の支店の場合は本店からの申請代理の委任状が必要。
- 3 資格証明書 経歴書、資格書の添付。(高さが5mを超える擁壁、切・盛土の面積が1,500㎡を超える排水施設設置の場合)
- 4 事前相談書 申出書、回答書の写し
- 5 協議経過書 必要に応じて、道路、下水道部局等との協議経過書を添付してください。
- 6 現況写真 現況の敷地全体が分かる写真を添付してください。
- 7 添付図書等 申請書には、次の書類を添付してください。(作成者の記名をすること)

図面の種類	縮尺	明示すべき事項	備考
1 位置図	1/2500	方位・道路及び目標とする建築物等。	
2 地形図 (現況図)	1/500 以上	方位及び宅地の境界線(申請区域線)朱線で囲むこと。	等高線は2m以上の 標高差及び仮 B.M の位置と高さ
3 公図(地籍図)		法務局備え付け図の写し。転写した日付・場所・氏名(捺印要)	水路・里道等、申請 区域着色のこと
4 宅地平面図 (造成計画平面図)	1/500 以上	方位及び宅地の境界線(申請区域線)。朱線で囲むこと。 切土または盛土する土地の部分。(切土黄、盛土赤着色) 擁壁の位置及び構造物別の高さ(着色要) 崖の位置(緑色着色) 排水施設の位置(水色着色) 計画地盤に高さ 道路の位置、幅、計画高さ及び勾配	申請書の記・番号 と合致のこと。 断面、展開図と照 合できる符号を付 ける。
5 宅地断面図 (宅地計画断面図)	1/500 以上	縦または横の断面の測点 道路隣接宅地等の境界及び擁壁等の構造物 現況、計画地盤高さ及びがけの高さ、勾配 切土または盛土する土地の部分。段切りの方法	測点距離20m標準 着色のこと
6 排水施設の平面図 及び構造図流末取 付管図	1/500 以上 1/50 以上	方位及び宅地の境界線(申請区域線)。朱線で囲むこと。 排水施設の位置、種類、材料、形状、内法寸法、勾配、及 び流水方向並びに吐口の位置、放流先の名称	
7 崖の断面図	1/50 以上	崖の高さ及び勾配 土質及び地層等の厚さ 切土または盛土をする前後の地盤面 崖面の保護方法	
8 擁壁の断面図	1/50 以上	擁壁の種類、勾配、高さ、上下端の厚さ及び基礎の寸法 擁壁の前面の根入れ深さ 裏込めコンクリートの寸法 透水層の位置、材料及び寸法。 水抜き穴の位置、材料及び内径 擁壁を設置する前後の地盤面 基礎地盤の土質、地耐力並びに基礎杭位置、材料及び 寸法、鉄筋及びコンクリートの強度等	

図面の種類	縮尺	明示すべき事項	備考
9 擁壁背面図 (展開図)	1/30 ~1/300	擁壁の種類、高さ、根入深さ、延長及び勾配。 水抜き穴の位置、材料及び内径 擁壁の折れ点(コーナー補強構造図要)。 伸縮目地の位置、寸法及び材料 宅地の平面図との照合記号。	水抜き穴は、壁面の面積3㎡以内ごとに 1箇所設置すること
10 求積図	1/500 以上	土工面積の求積。 申請地面積の求積。	切土、盛土を分けて求積
11 排水区域割り図	1/500 以上	排水区域割り。 排水区域ごとの面積。	切土、盛土の面積が 1500㎡を超える時。
12 防災計画平面図	1/500 以上	方位。 土留柵、擁壁、堰堤、仮排水路、暗渠排水等の位置、 構造及び寸法	必要に応じて、防災計画書とともに作成すること。
13 その他図面		必要により指示したもの	明示指令書の写し (原本照合要)等
14 計算書		擁壁の構造計算書 崖の安定計算書 水利(流量)計算書	コンクリート造の時 擁壁で覆う場合不要 1500㎡以上の排水
15 その他の必要図書		工事工程表 仕様書 土質調査報告書等	

正	宅地造成に関する工事の許可申請書				
宅地造成等規制法第8条第1項の規定による許可を申請します。 年 月 日 (宛先) 東大阪市長 許可申請者 住所 氏名					
1	造成主住所氏名				
2	設計者住所氏名				
3	工事施行者住所氏名				
4	宅地の所在及び地番				
5	宅地の面積	平方メートル			
6 工事の概要	イ 切土又は盛土をする土地の面積	平方メートル			
	ロ 切土又は盛土の土量	切土	立方メートル		
		盛土	立方メートル		
	ハ 擁壁	番号	構造	高さ	延長
				メートル	メートル
	ニ 排水施設	番号	種類	内法寸法	延長
				センチメートル	メートル
	ホ	がけ面の保護の方法			
ヘ	工事中の危険防止のための措置				
ト	その他の措置				
チ	工事着手予定年月日	年	月	日	
リ	工事完了年月日	年	月	日	
ヌ	工事の概要				
7	その他必要な事項				

※手数料欄	※許可に当って付した条件	※許可番号
	別紙の通り	年 月 日
※受付欄	(注意)	東大阪建指開 第 号
	1 ※印のある欄は記入しないでください。 2 2欄は、資格を有する者の設計によらなければならない工事を含む場合には、○印を付しかつ、資格を有することを証明するに足りる資料を本申請書に添付してください。 3 3欄は、未定のときは、後で定まってから工事着手前に届け出てください。 4 7欄は、宅地造成に関する工事を施行することについて他の法令による許可、認可等を要する場合においてのみ、その許可、認可等の手続の状況を記入してください。	

様式第 2

宅地造成に関する工事の許可申請書

副						
※許可通知欄	この申請書及び添付図書に記載の宅地造成に関する工事については、下記の条件を付して許可しましたので通知します。					
	許可番号 東大阪建指開第		号			
	年	月	日			
	東大阪市長				㊟	
	条 件 別紙の通り					
1	造成主住所氏名					
2	設計者住所氏名					
3	工事施行者住所氏名					
4	宅地の所在及び地番					
5	宅地の面積				平方メートル	
6 工事の概要	イ	切土又は盛土をする土地の面積			平方メートル	
	ロ	切土又は盛土の土量		切土	立方メートル	
				盛土	立方メートル	
	ハ	擁壁	番号	構造	高さ	延長
					メートル	メートル
	ニ	排水施設	番号	種類	内法寸法	延長
					センチメートル	メートル
	ホ	がけ面の保護の方法				
	ヘ	工事中の危険防止のための措置				
	ト	その他の措置				
チ	工事着手予定年月日		年	月	日	
リ	工事完了年月日		年	月	日	
ヌ	工事の概要					
7	その他必要な事項					

(注意)

※手数料欄
※受付欄

- ※印のある欄は記入しないでください。
- 2欄は、資格を有する者の設計によらなければならない工事を含む場合には、○印を付しかつ、資格を有することを証明するに足りる資料を本申請書に添付してください。
- 3欄は、未定のときは、後で定まってから工事着手前に届け出てください。
- 7欄は、宅地造成に関する工事を施行することについて他の法令による許可、認可等を要する場合においてのみ、その許可、認可等の手続の状況を記入してください。

委任状

住所

私儀

を代理人と

氏名

㊞

TEL

定め下記に関する一切の権限を委任いたします

記

(委任事項)

- ・都市計画法第29条第1項・第32条・第35条の2・第36条・第37条・
第38条・第41条第2項・第42条第1項・第43条・第44条・第45条・
第53条の許可・同意申請及び届出
- ・宅地造成等規制法第8条・第12条の許可申請及び届出
- ・建築基準法第42条第1項第5号の位置の指定の申請及び届出
- ・東大阪市開発指導要綱協議申出書及び協定書の締結
- ・東大阪市開発指導要綱変更届出・変更協議申出書及び変更協定書の締結

以上に関する申請手続き・訂正・受領の件。

年 月 日

住所

氏名

㊞

様式第10(第12条関係)

宅地造成工事許可標識 許可番号 東大阪建指開第 号 許可年月日 年 月 日	
工事の名称及び目的	
工事期間	
宅地の所在及び地番	
宅地面積	
造成主 住所 氏名	
工事施行者 住所 氏名	
工事現場 管理者 氏名	

← 80センチメートル →

↑ 90センチメートル ↓

注：工事着工までに必ず中間、完了検査に伴う事前打合せをしてください。

宅地造成工事の完了検査申請書類

書類名	備考
宅地造成に関する工事の完了検査申請書	
委任状	代理人に委任する場合
許可書の写し	
位置図	
造成計画平面図	
造成計画平面図(A3:保管用)	折らずに丸めて提出してください
排水計画平面図	
写真等許可時に求めた資料	

擁壁別各種資料提出チェックリスト

※ 正本 1部 提出

※ 下記事項をあらかじめ確認のうえ報告書に添付すること。

擁壁構造				添付書類・図面	摘要	
鉄筋コンクリート造RC	無筋コンクリート造	間知石練積み造	その他練積み造 雑割・野面・玉石等	造成のみ コンクリートブロック等		
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	工事監理報告書 (様式1)	必要事項記入、捺印のうえ工事写真及び(様式2)の報告経過書を添えて提出のこと
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	施工状況報告書 (中間) (様式3)	必要事項記入、捺印のうえ工事写真及び(様式2)の報告経過書を添えて提出のこと
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		コンクリート強度 試験成績書	1週強度は工場試験でも可 4週強度は外部の試験のもの 例えば、日本総合試験場のもの
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		コンクリートの 配合報告書	
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		コンクリートの 納入伝票(写し)	現場名のわかるもの
<input type="checkbox"/>					鉄筋のミルシート (写し)	
			<input type="checkbox"/>		ブロックの納入伝票(写し)	
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	出来高 擁壁構造図	
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	出来高 擁壁展開図	

宅地造成に関する工事の完了検査申請書

宅地造成等規制法第13条第1項の規定による検査を申請します。

年 月 日

(宛 先) 東大阪市長

造成主 住 所

氏 名

1 工 事 完 了 年 月 日	年 月 日
2 許 可 番 号	東大阪建指開 第 号
3 許 可 年 月 日	年 月 日
4 工事をした土地の所在及び地番	東大阪市
5 工事施行者住所氏名	
6 備 考	
申請代理者住所氏名	TEL ()

※ 受付欄

(注 意)

- ※印のある欄は記入しないで下さい。
- 擁壁工事又は指示を受けた工事の施工状況を明らかにした写真等を添付して下さい。

(様式1)

工事監理報告書

年 月 日

(宛先) 東大阪市長

宅地造成等規制法第13条の規定による完了検査のため報告します。

この報告書は事実に相違ありません。

工事管理者

工事施工者

工事現場代理人

許可年月日・番号	年 月 日	東大阪建指開第 号			
造成主 住所氏名					
工事施工場所	東大阪市				
設計者資格 住所氏名	()級建築士 ()登録第 号	TEL ()			
工事監理者 住所氏名	()級建築士 ()登録第 号	TEL ()			
工事施工者 住所氏名	建設業登録第 号	TEL ()			
工事期間	年 月 日 ~	年 月 日			
工事の概要	擁壁	番号	構造	高さ m	延長 m
	排水施設	番号	構造	内法寸法 cm	延長 m

工 事 の 概 要	擁 壁	番 号	構 造	高 さ m	延 長 m		
		排 水 施 設		番 号	構 造	内法寸法 cm	延 長 m

※工事監理報告書に添付のこと

(様式2)

月 日	天 気 最低気温	報告事項	報告事項詳細	資料 No	写真 No

※施工状況・工事監理報告書に添付のこと。

(様式3)

施工状況(中間)報告書

年 月 日

(宛先)東大阪市長

工事監理者

宅地造成に関する工事の施工状況について、必要書類及び工事写真を添えて中間報告いたします。

許 可 年 月 日	年 月 日
許 可 番 号	東大阪建指開 第 号
工 事 着 工 日	年 月 日
工 事 施 工 場 所	東大阪市
工 事 施 工 箇 所	
住 所 造 成 主 氏 名 電話番号	
住 所 工 事 施 工 者 氏 名 電話番号	
住 所 工 事 監 理 者 氏 名 電話番号	

※工事施工箇所については、タイプ別、底盤、縦壁等の種別記入のこと。

※添付書類：造成計画平面図、構造図(該当箇所着色のこと)、別紙様式2

報告書の作成要領

(工事写真)

- 1 写真は、工程順に黒板(工事件名・工種・撮影箇所・断面図記入)を入れてスケール等で寸法がわかるように撮影すること。
- 2 許可を受けた擁壁が複数タイプ(形式・高さの別)ある場合には、タイプ別に写真を整理すること。
- 3 各工事に先立ち、別紙「工事写真の撮り方」及び「注意事項」を熟読のうえ着手すること。また、コンクリートブロック擁壁の場合には、使用材料のパンフレットを事前に提出し、仕様書等も十分確認のうえ着手すること。
- 4 RC擁壁の場合は、配筋工事(底盤、縦壁別及びタイプ別)が終了した時点で、崩れ石積・無筋コンクリート擁壁の場合は、コンクリート工事が終了した時点で、間知石練積み・その他練り積み擁壁の場合は、擁壁の根入り深さ、幅が確認できる時点(例 1段目の石積み等が終了した時点)で別紙様式により写真を添えて報告書を提出し、必ず中間検査を受けること。(使用材料報告書提出のこと)
- 5 上記中間検査を受けないと、検査済書の交付が受けられない場合がある為、十分注意すること。
- 6 工事が完了したら、速やかに必要書類を添えて工事監理報告書と一緒に提出すること。

工事写真の撮り方について

1. 撮り方

- (1) 工事写真を撮る場合は、全景を撮りそれから詳細部分を撮ること。
- (2) 詳細写真は、箱尺又はリボンテープ等寸法の分かるように撮ること。
- (3) 詳細写真には、黒板を当てること。黒板の表示は、工事名・施工者名・写真撮影の年月日及び断面や配筋等撮影の目的となる内容を明記すること。

2. 撮影箇所(撮影箇所の分かる図面→番号矢印等で記入)

- (1) 工事着手前及び竣工後の全景
- (2) 撮影数は、1タイプの擁壁で2ヶ所とし、同一タイプで延長が100mを超える場合は50m超える毎に1ヶ所追加すること。
- (3) 新たに設置される公共施設については、管理者と協議すること。
- (4) 擁壁(練積み)
 - ① 栗石地業厚さ及び幅
 - ② 均しコンクリート施工状況
 - ③ 基礎の出来高寸法
 - ④ 根石の据え付け状況
 - ⑤ 前面GL部分の裏込めコンクリートの幅
 - ⑥ 裏栗石の厚さ及び止水コンクリートの施工状況
 - ⑦ 正面からの全高さ及び根入れ深さ
- (5) 擁壁(重力式、もたれ式)
 - ① 栗石地業厚さ及び幅
 - ② 均しコンクリート施工状況
 - ③ 躯体の出来高寸法及び根入れ深さ
 - ④ 裏栗石の厚さ及び止水コンクリートの施工状況
- (6) 擁壁(L型コンクリート、逆T型コンクリート)
 - ① 栗石地業厚さ及び幅
 - ② 均しコンクリート施工状況
 - ③ 基礎の配筋状況(φ、ピッチ、定着長さ等)
 - ④ 基礎の出来高寸法
 - ⑤ 縦壁の配筋状況(φ、ピッチ、定着長さ等)
 - ⑥ 縦壁の出来高寸法及び根入れ深さ
 - ⑦ 裏栗石の厚さ及び止水コンクリートの施工状況
- (7) 排水関係
 - ① 掘方の深さ及び幅
 - ② 地業厚さ及び幅
 - ③ 配水管及び人孔、柵等布設状況
 - ④ その他完成後見えなくなる部分
- (8) 盛土工事
盛土厚さ30 cm毎の転圧状況

① 仮設工事(現況写真)

※ 全景写真 ……………草木を取り除いた後の写真。

注) 土工事に先立ち草木やそれらの根が土中に混入しないように取除いておくこと。

② 土工事(床掘写真)

※ 全景写真 ……………床掘幅と深さがわかること。

注) 根切りを行い、土質を確認すること。

掘過ぎにより、基礎地盤を乱さないこと。

工事によるがけ面が、施工中に乱れないよう十分注意すること。

湧水がある場合には、適切な排水処理をすること。

③ 鉄筋工事(底盤配筋、縦壁配筋-1)

※ 底盤・縦壁の配筋全景写真

注) かぶり厚さを確認し配筋すること。

結束は、クロス部分の全てとする。

④ 鉄筋工事(底盤配筋、縦壁配筋-2)

※ かぶり厚さ、配筋寸法、結束状況、重ね継手の部分確認写真

注) 縦壁なら、外・内側配筋、底盤なら下・上側配筋に分けて撮影すること

なお、頻度は各部分1スパン(約10m)に1ヶ所毎必要とする。

⑤ コンクリート工事(底盤、縦壁コンクリート打設)

※ 底盤、縦壁(表・裏)全景、出来高写真

※ 石積等では、基礎コンクリート形状・前面根入り深・擁壁最頂部、下部の厚さの確認写真

注) 厚さ、高さ、幅が確認できること。(黒板に出来高寸法記入要)

型枠は十分に散水し、付着物のないものを使用すること。

打設時にはバイブレーター等を使用して均質に施工すること。

コンクリートの打継ぎは、横打継ぎを極力さけること。

⑥ 裏込栗石工事

※ 全景、部分写真

注) 最下・上部分の厚さについて確認できること。

⑦ 排水工事(水抜き穴)

※ 全景、部分写真

注) 水抜きの内径・材質が確認できること。

水抜きの数及び位置を確認できること。

⑧ 完了写真

※ 全景写真

注) 埋戻しでは、擁壁付近の土質が不良な場合には、良質な土砂と入替える等適切な処理を行なうこと。また、擁壁への側圧が過大にならないよう配慮すること。

正		宅地造成に関する工事の変更許可申請書			
宅地造成等規制法第12条第1項の規定による許可を申請します。					
年 月 日					
(宛先) 東大阪市長					
変更許可申請者 住所 氏名					
1 造成主住所氏名					
2 設計者住所氏名					
3 工事施行者住所氏名					
4 宅地の所在及び地番					
5 宅地の面積		平方メートル			
6 工事の概要	イ 切土又は盛土をする土地の面積	平方メートル			
	ロ 切土又は盛土の土量	切土	立方メートル		
		盛土	立方メートル		
	ハ 擁壁	番号	構造	高さ	延長
				メートル	メートル
	ニ 排水施設	番号	種類	内法寸法	延長
				センチメートル	メートル
	ホ がけ面の保護の方法				
	ヘ 工事中の危害防止のための措置				
	ト その他の措置				
チ 工事着手予定年月日	年	月	日		
リ 工事完了年月日	年	月	日		
ヌ 工事の概要					
7 宅地造成に関する工事の許可番号	年	月	日	東大阪建指開第 号	
8 変更の理由					
9 その他必要な事項					
10 申請代理者住所・氏名	電話番号 ()				
※ 変更許可番号欄	※許可に当て付した条件			※ 手数料欄	
年 月 日 東大阪建指開第 号	別紙の通り				
(注意)				※ 受付欄	
1 ※印のある欄は記入しないでください。 2 4欄、5欄、6欄(チ及びリを除く)は、変更前及び変更後の内容を対照させて記入してください。 3 9欄は、宅地造成に関する工事を施工することについて他の法令による許可、認可等を要する場合においてのみ、その許可、認可等の手続の状況を記入してください。					

副		宅地造成に関する工事の変更許可通知書				
※ 許 可 通 知 欄	この申請書及び添付図書に記載の宅地造成に関する工事については、下記の条件を付して許可しましたので通知します。					
	変更許可番号 東大阪建指開第		号			
		年 月 日		東大阪市長 ㊟		
		条 件 別紙の通り				
1	造成主住所氏名					
2	設計者住所氏名					
3	工事施行者住所氏名					
4	宅地の所在及び地番					
5	宅地の面積	平方メートル				
6 工 事 の 概 要	イ	切土又は盛土をする土地の面積		平方メートル		
		ロ	切土又は盛土の土量	切土	立方メートル	
	盛土		立方メートル			
	ハ	擁壁	番号	構造	高さ	延長
					メートル	メートル
	ニ	排水施設	番号	種類	内法寸法	延長
					センチメートル	メートル
		ホ	がけ面の保護の方法			
		ヘ	工事中の危害防止のための措置			
		ト	その他の措置			
	チ	工事着手予定年月日		年	月 日	
	リ	工事完了年月日		年	月 日	
	ヌ	工事の概要				
7	宅地造成に関する工事の許可番号	年 月 日		東大阪建指開第 号		
8	変更の理由					
9	その他必要な事項					
10	申請代理者住所氏名	電話番号 ()				
(注意) 1 ※印のある欄は記入しないでください。 2 4欄、5欄、6欄(チ及びリを除く)は、変更前及び変更後の内容を対照させて記入してください。 3 9欄は、宅地造成に関する工事を施工することについて他の法令による許可、認可等を要する場合においてのみ、その許可、認可等の手続の状況を記入してください。					※手数料欄	
					※受付欄	

宅地造成に関する工事の変更届出書

年 月 日

(宛 先) 東大阪市長

届出者 住 所

氏 名

宅地造成等規制法第12条第2項の規定により、宅地造成に関する工事の軽微な変更をしたので、下記のとおり、届け出ます。

記

変 更 内 容	
変 更 の 理 由	
許可の年月日及び番号	年 月 日 東大阪建指開第 号

申請代理人住所氏名	住 所 氏 名 電 話 番 号
-----------	-----------------------

注)

- ※印のある欄は、記入しないでください。
- 許可申請書の写しを添付してください。
また、これまでに変更許可申請、変更届出等の手続を行っている場合は、その変更許可通知書、変更届等の写しも添付してください。
- 代理人が申請手続をする場合は、委任状が必要です。

※ 受 付 印

--

中止
工事再開届
廃止

年 月 日

(宛 先)東大阪市長

造成主 住 所

氏 名

東大阪市宅地造成等規制法施行細則第9条の規定により、下記のとおり、お届けします。

記

中止 廃止	後 の 措 置	
中止 再開 廃止	予 定 年 月 日	年 月 日
許 可 年 月 日 及 び 番 号	年 月 日	東大阪建指開第 号
中止 再開 廃止	理 由	
※ 所 見 欄		※ 処 理

注 1 ※印のある欄は記入しないこと

2 該当項目を○印で囲むこと